

音楽科学習指導案

東広島市立松賀中学校

- 1 日 時 平成26年7月15日(火) 3校時
- 2 学 年 第3学年1組 (男子15名, 女子15名 計30名)
- 3 題材名 絵画と音楽のかかわり (組曲「展覧会の絵」)

4 題材設定の理由

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領音楽の第2学年及び第3学年の指導事項「B鑑賞」(1)ア「音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」、及びイ「音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて、鑑賞すること」を受けて設定した。〔共通事項〕のうち音色、旋律、速度、リズム、強弱を扱う。

本題材で扱う組曲「展覧会の絵」はムソルグスキーの友人であったガルトマンの遺作展で見た10枚の絵を音楽に仕立てたものである。組曲は「プロムナード」という短い前奏曲あるいは間奏曲を挿入しながら、絵画に対応する10の楽曲が順番に並べられて、音楽全体が構成されている。

この楽曲は、絵画に描かれたものの背景や思いが音楽でよく表現され、各曲の曲想の特徴がはっきりしている。また、絵画を見て、絵画に描かれているものの特徴や背景などを知ることによって、音楽的な感受を高め、聴き深めていくために適していると考えられる。

10曲のうち本題材で詳しく扱う曲は「グノーム」「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」、「カタコンベ」、「鶏の足の上の小屋」の4曲である。「グノーム」は地中の宝を守ると言い伝えられている地の精を描いたものである。グノームはおどけた顔をしており、音楽からも奇妙な動きを聴き取ることができる。「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」は実際に行われたバレエの衣装をイメージした絵画であり、鳥のさえずりや足取り、羽ばたきを巧みに表現している。「カタコンベ」は古代ローマ時代の地下墓地のことで、ランプをかざしながらゆっくりと地下を歩く人物像をイメージしている。ほとんど和音で構成され、重く不気味な感じを出している。「鶏の足の上の小屋」はロシアの民謡に出てくる、バーバ・ヤーガの小屋を模った置時計のデザイン画である。荒々しいアクセントは子どもをさらったり、人骨を食らったりするバーバ・ヤーガに対する恐怖心をあおる。また、この曲は小屋というよりバーバ・ヤーガ自身を表現していると言われている。

(2) 生徒観

本学級の生徒は音楽の授業が好きであると思っている生徒が多い。鑑賞においては、これまでに、その音楽から感じ取ったことを、共通事項を支えとしながら言葉や文章で表す学習を行ってきた。第2学年で行ったベートーヴェンの「交響曲第五番ハ短調」では、ソナタ形式に沿ってベートーヴェンの心情を想像させ、心情が強弱、旋律、リズムでどう表現されているかを感じ取る学習をした。グループで意見を交流する場面では、「他の人の意見を聞いておもしろいと思った」、「他の人の意見を聞いてなるほどと納得がいった。」という感想をもつ生徒が多く、グループ活動が音楽の味わいを一層深めることにつながっている。その反面、音楽から感じ取ったことを言葉や文章で表す活動が

あまり好きではないとする生徒が 25%いる。また、共通事項に示された音楽を形づくっている要素の理解度については、強弱、速度、リズムは 94%~100%が理解しているが、旋律は 60.1%、音色 78.5%にとどまっている。理解度が低いものに関しては事前に確認をしていく必要である。

(3) 指導観

この題材では、10 曲の中から絵画の特徴（絵画の説明）と音楽の特徴がはっきりしている 4 曲を抜粋して曲の特徴を聴き取らせ、絵画とのかかわりについて学習を進めていく。絵と音楽を関連付けさせる活動を通して、音楽を特徴付けている音色、旋律、速度、リズム、強弱などの要素が曲や絵画の内容とどう関わっているか考えさせ、曲をより深く聴かせたい。そのために、ワークシートを工夫し、「音楽だけを聴いたときの曲の印象」、「絵画（絵画の内容）」、「曲の印象を作り出したり絵画と一致すると感じさせる音楽の特徴」の 3 つを活動の流れに沿って書く欄を設け、情報を整理しながら聴かせていきたい。

また、音楽から感じ取ったことを言葉や文章で表す活動があまり好きではないとする生徒が 25%いるので、話型を示したり、グループで意見を交流したり、よく聴き取っている生徒に意図的指名をしたりして意見を交流させる。そのときには人の意見を赤ペンでメモさせる方法を取り、聴き直しをしたときに確認しやすいようワークシートに記入をさせる。それによって人の意見を自分の考えの中に取り込み、自分の考えを広げたり深めたりすることができるのではないかと考える。

題材の最後にはもう一度全体の構成に着目させ、批評文を書き、学習を振り返らせたい。

5 題材の目標

- 「展覧会の絵」の音楽を形づくっている音色、旋律、速度、リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
- 「展覧会の絵」の音楽の特徴をその背景となる文化や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりして鑑賞している。
- 知覚・感受しながら要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わっている。

6 題材の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	エ 鑑賞の能力
① 「展覧会の絵」の音楽の特徴とその背景となる文化や他の芸術との関連に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	① 「展覧会の絵」の音色、旋律、速度、リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ② 知覚・感受しながら「展覧会の絵」の音楽の特徴をその背景となる文化や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 ③ 知覚・感受しながら要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わっている。

7 指導と評価の計画（全5時間）

次	時	学習内容	評 価			
			関	鑑	評 価 規 準	評価方法
一	1	○組曲「展覧会の絵」について学習する。 ・曲について 作曲の動機 曲の構成 10枚の絵の簡単な説明 ・作曲家について 出身国，時代，絵画の作者との関係 (1)	○		ア①「展覧会の絵」の音楽の特徴とその背景となる文化や他の芸術との関連に関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート 記入内容 ・行動観察
二	2	○「卵の殻をつけたひなどりのバレエ」，「カタコンベ」を聴く。 ・曲想を感じ取る。 ・絵画を関連付けさせる。 ・感じ取った曲想や絵のイメージを手がかりにして音楽の特徴を聴き取る。(1)		○	エ①「展覧会の絵」の音色，旋律，速度，リズム，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。 エ②知覚・感受しながら「展覧会の絵」の音楽の特徴をその背景となる文化や他の芸術と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。	・ワークシート 記入内容 ・行動観察
	3	○「鶏の足の上の小屋」を聴く。 ・曲想を感じ取る。 ・絵画を関連付けさせる。 ・感じ取った曲想や絵のイメージを手がかりにして音楽の特徴を聴き取る。(1)		○	エ①「展覧会の絵」の音色，旋律，速度，リズム，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。 エ②知覚・感受しながら「展覧会の絵」の音楽の特徴をその背景となる文化や他の芸術と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。	・ワークシート 記入内容 ・行動観察
	4	○「グノーム」を聴く。 ・曲想を感じ取る。 ・絵画を関連付けさせる。 ・感じ取った曲想や絵のイメージを手がかりにして音楽の特徴を聴き取る。 【本時】(1)		○	エ①「展覧会の絵」の音色，旋律，速度，リズム，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取っている。 エ②知覚・感受しながら「展覧会の絵」の音楽の特徴をその背景となる文化や他の芸術と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。	・ワークシート 記入内容 ・行動観察

三	5	○組曲全体の構成に着目し、曲を聴き、まとめをする。 ・プロムナードの変化を感じ取らせる。 ・批評文を書く。 (1)	○	エ③知覚・感受しながら要素や構造と曲想との関わりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わっている。	・ワークシート 記入内容 ・行動観察
---	---	--	---	---	--------------------------

8 本時の展開

(1)本時の目標 音楽と絵画を関連付けて、絵画の様子を音色、旋律、速度、リズム、強弱でどう表現しているか聴き取り、解釈をしたり、価値を考えたりし、鑑賞している。

(2)評価規準 「展覧会の絵」の音色、旋律、速度、リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、その背景となる文化やほかの芸術と関連付けて理解し、鑑賞している。

A評価：音色、旋律、速度、リズム、強弱の働きをいくつか挙げ、曲想や絵画の様子や特徴を音楽でどう表現しているかを感じ取り、ワークシートに記入したり、発言したりしている。

B評価：音色、旋律、速度、リズム、強弱の働きを2つ挙げて絵画の様子や特徴を音楽でどう表現しているかを感じ取りワークシートに記入したり、発言したりしている。

(3)本時の展開

	学 習 活 動	指導上の留意事項 (◇) 努力を要する状況と判断した生徒の指導の手立て (◆)	評価規準 (評価方法)
導入	○前時の復習をする。	◇前時の活動の流れやその時出された意見を振り返る。	
展 開	<p style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">今日の目標 絵のイメージと音楽を重ねて、音楽の特徴を聴き取り、音楽のよさを味わおう。</p> <p>○「グノーム」を聴き、曲想を聴き取る。(ワークシート)</p> <p>○「グノーム」にかかわる絵画について説明を聞く。</p> <p>○曲の印象を作り出したり、絵画と一致すると感じさせたりする音楽の特徴を聴き取る。 (ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈予想される生徒の姿〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムが速い動きになったり、急に止まったりしている。 ・旋律の音の動きが高くなったり低くなったり忙しく動いている。 →グノームの奇妙な動き ・旋律が短調で暗い、音が低い →地下の不気味な感じ ・最後、旋律の音階が駆け上がる。 →敵を捕まえた。 </div> <p>○考えたことをシェアし、考えを深める。 グループ→全体</p> <p>○曲を聴きながら、絵画を音楽でと絵画を重ねて理由を確認する。</p> <p>○第2次までに聴いた4曲のうち、絵画のイメージと音楽を一番重ねて聴くことができた曲を1曲選び、その理由を音楽の特徴を含めて説明する。 (ワークシート)</p>	<p>◇絵を見ずに曲を聴いた第一印象で答えさせる。</p> <p>◇教絵画の補足説明をする。 絵画と絵画の内容がかかれたものをワークシートに貼る。</p> <p>◇考曲をもう一度鑑賞し、旋律、速度、リズムのどのような働きで、何をどう表しているのか考えさせる。</p> <p>音楽の特徴→曲の印象・絵画の様子 というように簡潔に書かせる。 《思考スキル：視点、理由、関連付け》</p> <p>◆考えられない生徒にはさらに視点を絞って、最も特徴的な要素を提示して考えさせる。</p> <p>◇表根拠を明確にして、絵画と音楽が一致する理由を説明させる。人の意見を赤ペンで記入し、考えを深めさせる。《表現スキルー3ポイント発言の活用》</p> <p>◇表絵画や絵画の内容と音楽でどう表現されていたかの具体例を1つ以上含め、全体で共有したこと(赤ペンで記入したこと、確認で聴き取ったこと)を参考にしながら書かせる。</p> <p>◆印象に残った曲や音楽の特徴を思い起こさせて考えさせる。</p>	<p>・「展覧会の絵」の音色、旋律、速度、リズム、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p>・知覚・感受しながら「展覧会の絵」の音楽の特徴をその背景となる文化や他の芸術と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。 (ワークシート記入内容)</p> <p>・行動観察)</p>

ま と め	○本時の学習を振り返り、次時に つなげる。		
	<p>〈生徒のまとめ例〉</p> <p>私は曲を聴いて、4曲の中で絵のイメージと音楽を重ねることができた曲は「鶏の足の上の小屋」です。小屋に住むバーバヤーガが臼に乗って飛び跳ねながら子供を追いかける様子が一定に刻まれるリズムで表されているし、f（フォルテ）や勢いのある音色でバーバヤーガの恐ろしさを表しているからです。</p>		

9 板書計画

今日の目標 絵のイメージと音楽を重ねて、音楽の特徴を聴き取り、音楽のよさを味わおう。	
鶏の足の上の小屋	C グノーム
<p>強弱が強い・速度速い</p> <p>旋律の音階が低い音から上がっている。</p> <p style="margin-left: 20px;">→ バーバヤーガが迫ってくる</p> <p style="margin-left: 20px;">→ バーバヤーガの勢い</p> <p>旋律が短調</p> <p>音色が 激しい 重い音色</p> <p style="margin-left: 20px;">→ 怖さ</p>	<p>印象</p> <p>音楽の特徴</p>

